

特集

アフリカ — オープンアクセスに向けた取り組みと課題

岸 真由美

サハラ以南アフリカにおいても、他の開発途上地域と同様に、オープンアクセスに向けた取り組みが始動している。本稿では、その動向を紹介するとともに、アフリカのオープンアクセスの推進に横たわる課題についても触れることとする。

● オープンアクセスリポジトリ

世界各国のオープンアクセスリポジトリを登録するデータベース OpenDOAR^(注)には、南アフリカ一四件、ウガンダ、ケニア、ナミビア、ジンバブエ各一件のリポジトリが登録されている。同じく世界的なりポジトリ・データベースである ROAR^(注)には、南アフリカ二件、ナミビアとジンバブエは一件ずつ登録がある。この二つのデータベースに登録されているリポジトリ数から重複分などを除くと、南アフリカ一五件、ナミビア二件、ケニア、ウガンダ、ジンバブエが各一件で、計二〇件となる(表1)。実際には、これらの機関への登録は申告制であるため、上述の学術研究機関以外にもリポジトリを公開している

可能性がある。とはいえ、サハラ以南アフリカ諸国のリポジトリが世界全体に占める割合は、他の地域と比べても全体の1%と極めて小さい(表2)。アフリカ大陸に存在する国の数を考えれば、リポジトリの絶対数がそもそも少ないと言える。

オープンアクセスリポジトリの利点の一つは、標準化されたデータフォーマットに基づいて、目録情報を自動収集する機関が存在することだろう。前述の OpenDOAR、ROAR のほか、OALister (<http://www.oalister.org>) などがこれにあたる。こうしたデータ収集機関に各機関リポジトリが目録情報を提供することで、利用者は複数機関の目録情報に対して横断検索を行うことが可能になる。ところが、ROARに登録されたアフリカ地域のリポジトリ一四件のうち自動収集が実際に行われているのは南アフリカの六件、OpenDOARでは一九件のうち一二件にとどまる。各リポジトリを個別に見てみると登録論文数が徐々に増加しているにもかかわらず、発信した学術情報がネットワーク上に流布され、研究成果の視認性の向上につながるような仕組み

がまだ完成していない。

アフリカのリポジトリの登録コンテンツを見ると、学位論文のコレクションが非常に多い。この傾向は特に南アフリカで強く、表1では、教育課程を開設していない科学・産業研究協議会 (Council for Scientific and Industrial Research) を除くすべてのリポジトリが学位論文をコレクションとする。

アフリカにおける電子学位論文 (ETDs) の先駆けとしては、アフリカ大学協会 (Association of African Universities = AAU) が、アフリカ一〇カ国、一機関と協同で設立したアフリカ学位論文データベース・イニシアチブ (The Database of African Theses and Dissertations Initiative) がある。この学位論文の索引データベース計画は、一九九七年にフォード財団とロックフェラー財団の援助で設立された P I A C (The Project for Information Access and Connectivity) による実行可能性調査に基づき、アフリカにおける研究成果へのアクセスを向上させる目的で実施されたものである。それから約一〇年が経過し、現在では、南アフリカを中心に学術研

U R L	登録論文数
http://www.sudanarchive.net/	—
http://dspace.unam.na:8081/dspace/	17件
http://greenstone.unam.na/gsd/cgi-bin/library	—
http://researchspace.csir.co.za/dspace/	1951件
http://ir.dut.ac.za/	263件
http://143.160.38.130:8080/jspui/	142件
http://eprints.ru.ac.za/	1063件
https://etd.sun.ac.za/jspui	1679件
http://ir.sun.ac.za/dspace	766件
http://pubs.cs.uct.ac.za/	316件
http://etd.rau.ac.za/	1131件
http://uidigispace.uj.ac.za:8080/dspace/	1649件
http://upetd.up.ac.za/	4206件
https://www.up.ac.za/dspace/	6554件
http://etd.unisa.ac.za/	1935件
http://ahero.uwc.ac.za/	444件
http://etd.uwc.ac.za/	640件
http://witsetd.wits.ac.za:8080/dspace	5550件
http://dspace.mak.ac.ug/	55件
http://ir.uz.ac.zw/	215件

(出所) OpenDOAR (<http://www.opendoar.org/>) (最終アクセス 2008年12月28日).
ROAR (<http://roar.eprints.org/>) (最終アクセス 2008年12月28日).
(注) 表に記載したのはOpenDOARおよびROARに登録されている機関のみである。

表2 地域別リポジトリ数

地 域	リポジトリ数
ヨーロッパ	493
北アメリカ	311
ラテンアメリカ・カリブ地域	114
東アジア	92
中東・欧・CIS諸国	75
オセアニア	54
南アジア	42
東南アジア	16
サハラ以南アフリカ	14
中東・北アフリカ	12
その他の	16
総 計	1239

(出所) ROAR <<http://roar.eprints.org/>>
(最終アクセス 2008年12月28日).

表3 アフリカにおける人文社会科学分野の学術雑誌数 (国別)

国	タイトル数
ナイジェリア	35
南アフリカ	31
ガーナ	8
エチオピア	5
セネガル	5
ウガンダ	4
レソト	3
タンザニア	3
ジンバブウェ	4
ブルキナファソ	1
コンゴ民主共和国	1
カメルーン	1
マラウイ	1
ボツワナ	1
スワジランド	2
総 合 計	105

(出所) African Journal Online <<http://www.ajol.info/>> (最終アクセス 2008年12月28日).

次に、右記の五カ国についてDOAJでオープンアクセスジャーナルのタイトル数を調べてみると、ナイジェリアが二〇誌(表3)。

表1 アフリカのリポジトリ一覧

国 名	機 関 名	リ ポ ジ ト リ 名
ケニア	Rift Valley Institute	Sudan Open Archive (SOA)
ナミビア	University of Namibia	DSpace at the University of Namibia Library
ナミビア	University of Namibia	Digital Collections of the University Library
	Council for Scientific and Industrial Research	CSIR Research Space
	Durban University of Technology	Durban University of Technology Institutional Repository (DUT IR)
	North-West University (Potchefstroom Campus)	Boloka: Institutional Repository: Potchefstroom Campus (Boloka bediener)
	Rhodes University	Rhodes eResearch Repository (ReRR)
	Stellenbosch University	Stellenbosch University SUNeTD repository
	Stellenbosch University	Stellenbosch University Institutional Repository
	University of Cape Town	University of Cape Town Computer Science Research Document Archive (UCT CS Archive)
南アフリカ	University of Johannesburg	Electronic Thesis and Dissertation Database
	University of Johannesburg	UJDigispace
	University of Pretoria	University of Pretoria Electronic Theses and Dissertations (UPeTD)
	University of Pretoria	UPSpace (UPSpace at the University of Pretoria)
	University of South Africa	Unisa ETD
	University of the Western Cape	AHERO (African Higher Education Research Online)
	University of the Western Cape	UWC Theses and Dissertations
	University of the Witwatersrand	University of the Witwatersrand Institutional Repository
ウガンダ	Makerere University	Uganda Scholarly Digital Library at Makerere (USDL)
ジンバブウェ	University of Zimbabwe	University of Zimbabwe Institutional Repository

●オープンアクセスジャーナル

アフリカで出版された査読付き学術雑誌の世界的データベースであるAJOL (<http://www.ajol.info/>)には、二五カ国で出版される三四〇の学術雑誌が登録されている(最終アクセス、二〇〇八年二月二六日)。このうち、人文科学・社会科学系学術誌は一五カ国一〇五誌ある。出版タイトル数が突出しているのは、ナイジェリアの三五誌、南アフリカの三一誌である。次いで、ガーナ八誌、エチオピア五誌、セネガル五誌とな

究機関が直接自らの研究成果である学位論文を電子化して公開するようになってきていると言えよう。

会科学分野は三誌、以下かつこ内同じ)、南アフリカ二誌(五誌)である。ガーナ、エチオピア、セネガルはそれぞれ一誌登録されているが、いずれも自然科学系の学術誌である。この他、ウガンダ、ケニア、タンザニアにそれぞれ三誌、自然科学系のオープンアクセスジャーナルがある。

AJOLの登録誌一覧から分野別にタイトル数を調べると、アフリカ全体では、農学分野五〇誌、医学・保健分野一一誌、科学技術分野一〇七誌である。この数を見る限りでは、人文・社会科学分野の学術雑誌がとりわけ少ないとは言えないが、オープンアクセスジャーナル化の進捗から言え、やはり自然科学分野の方が速い。たとえば、ナイジェリアでは、医学系学術誌 *African Journal of Reproductive Health* (<http://www.bioline.org.br/rh>) がオープンアクセスジャーナルとして二〇〇一年から刊行されているが、社会科学系では *International NGO Journal* (<http://www.academicjournals.org/INGOJ>) が五年遅れて二〇〇六年にオープンアクセスジャーナルとして刊行が始まっている。

●さらなる情報通信基盤の整備の必要性

アフリカで生産される学術情報は決して少なくない。情報通信技術の発達と普及によって、現地の学術研究機関が直接インターネットを介して学術情報を発信するよ

うにもなっている。このことは、アフリカの現地研究者にとっても、先進国の研究者にとっても、価値ある学術資源へのアクセスが容易になるメリットがある。

しかしながら、インターネットを利用した学術情報の流通の仕組みが十全に機能するためには、まだまだ課題もある。インターネット接続料金一つとっても、アフリカは先進国と比べると極めて割高である。国際電気通信連合(ITU)刊行の *African Telecommunication Indicators 2004* によれば、二〇時間分のインターネット接続料金は、サハラ以南アフリカ諸国で平均約六五ドル、一人あたりの国民総所得の約二七二%なのである。

オープンアクセスリポジトリにせよ、オープンアクセスジャーナルにせよ、コンテンツは無料で公開されているが、その仕組みを支える基盤の整備と維持は決して無料ではない。無料のオープンソースソフトウェアを利用することも一つの手ではあるが、情報通信基盤の整備と高い情報通信技術を有する人材の育成、そして、それらを可能にする経済発展が重要だろう。

(きし まゆみ/アジア経済研究所図書館)